

C & U

CREATIVE
& UNIQUE



電波暗箱(シールドボックス)

ME8661A

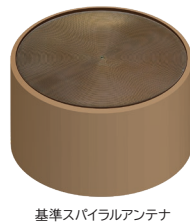
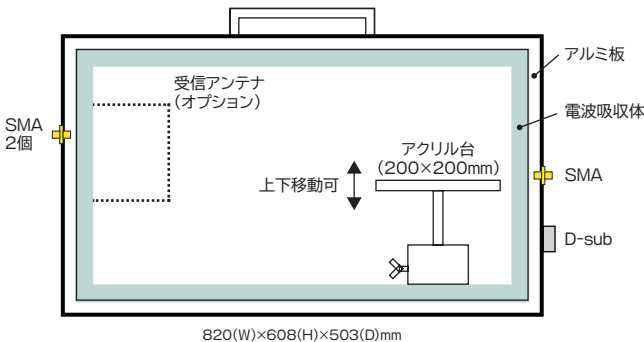


RFID・無線LAN・ETCの無線系試験に最適。

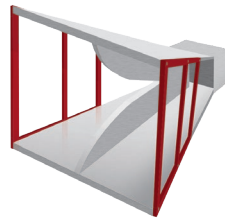
MICRONIX

据え置きで使用する簡易型の電波暗箱です。電波吸収体、アルミ板の2重構造になっており、低周波から18GHzまでの周波数帯をカバーしています。また DUT を置くためのアクリル台が設置され、オプションの受信アンテナが簡単に取り付けられる構造となっています。

ME8661Aの構造



標準スパイラルアンテナ



標準ホーンアンテナ

周波数範囲	2~18GHz
利得 (typ.)	-6~+4.4dBic
VSWR	<3.0
偏波	右旋円偏波
軸比	<3.5dB
用途	ETC車載器等

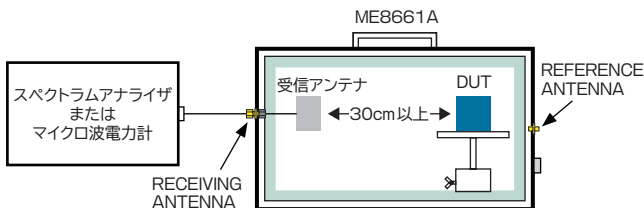
周波数範囲	1.6~20GHz
利得 (typ.)	+5~+15dBi
VSWR	<1.5
偏波	直線偏波
最大入力電力	50W(CW)
用途	携帯電話、無線LAN等

※アンテナの画像はイメージイラストになります。

アプリケーション

応用1:無線系試験

携帯電話、ETC 車載器、無線LAN、無線通信機等において、実際の使用状態に近い自由空間での無線系試験(送信電力、送信周波数、スプリアス、占有帯域幅、キャリアオフ時漏洩電力、隣接波漏洩電力、変調指数、送信アイ開口率等の試験)を行うことができます。



この無線系試験は、DUTをアクリル台の上に置き、これと対向した位置に取り付けられた受信アンテナの出力をスペクトラムアナライザやマイクロ波電力計等に接続して行います。したがって、この試験を行うときは、オプションの受信アンテナが別途必要になります。受信アンテナは、スパイラルアンテナとホーンアンテナを用意していますが、これら以外の仕様のアンテナを取り付ける場合は、使用周波数帯域と偏波方式の指定により対応することができます。また、DUTと受信アンテナとの距離は30cm以上とすることができます。

オプションの基準アンテナは、RF結合度(DUTの前面から受信アンテナ出力SMAコネクタまでの損失)の校正時に使用します。この基準アンテナには、アンテナ利得とRF結合度の周波数特性データが添付されます。なお、基準アンテナと受信アンテナは、アンテナ自体は同一のものですが、基準アンテナにはアクリル台の上に置くことができるように、固定台が付いています。

応用2:アンテナ試験

基準アンテナ用コネクタに信号源を接続し、受信アンテナ用コネクタに測定器を接続することによって、アンテナの特性データを取ることができます。

応用3:電波暗箱として

アンテナは取り付けないで、単なる電波暗箱として使用できます。EMC試験の簡易的な予備実験や、外部電磁界から遮蔽して試験をしたい場合に最適です。

主な仕様

外形寸法	約820(W)×608(H)×503(D)mm(突起物含まず)		
内部寸法	約690(W)×380(H)×380(D)mm		
構造	電波吸収体、アルミ板の2重構造		
重さ	約38kg（アンテナ含まず）		
アクリル台寸法	200×200mm		
コネクタ	・ SMA 3個(基準側1個、受信側2個) ・ 25ピンD-sub		
オプション	受信スパイラルアンテナ		
	基準スパイラルアンテナ (アンテナ利得、RF 結合度データ付)		
	受信ホーンアンテナ		
	基準ホーンアンテナ (アンテナ利得、RF 結合度データ付)		
	マイクロ波同軸ケーブル	0.5m	
		3m	
		4m	
	マイクロ波固定減衰器 (1～10、12、13、15、20dB)		
	50Ω終端器 (SMA)		
	ターンテーブル(手動)		
キャスター			

※手動ターンテーブルを選択した場合、高さ調整が可能なアクリル台は付きません。ご注意ください。

※仕様・形状は、事前の断りなしに変更されることがあります。※実際の色とは異なることがあります。ご了承ください。



WEBはこちら